

心理職
集団討論の課題

【令和7年1月23日実施】

ヘルプマークは外見では分かりにくい病気や障がいのある人が周りの人から理解や援助を求めやすくするために東京都が2012年に作成しましたが、現在は全都道府県が導入しています。

一方で、導入当初に比べ、認知度は向上しているものの、外見では分かりにくいと、「どういうお手伝いが必要か見た目ではわからない。」「障がいの内容や程度は様々で支援といっても具体的にどうすべきかは難しいと感じる。」や「手助けしたい気持ちは多くの人が持っているが、実際の行動に移す勇気がなかなか出ない人」が大多数。」といった意見もみられます。

そこで、外見では分かりにくい病気や障がいのある人への適切な援助や配慮について、府民が理解し、行動につなげるためにはどのような取り組みが必要か、行動につながらない背景も考えながら、グループで話し合い意見をまとめてください。